

ありだ

風薫る

Arida City

はるか昔から有田の地ではぐくまれてきたもの、
それは歴史の薫り、潮風の薫り、みかんの薫り…風の薫り。
今日もまた、ふるさとに心地よく薫る風が吹く。
そして今、新しい風を起こし、未来へ—



有田川

向かいあう、山々の間を流れる有田川。
川岸が新緑に色づき、みかんの花が咲く5月、
まちは甘酸っぱい薫りに包まれる。
ああ、心に浮かぶ懐かしきふるさとの風景。



薫る風景

和歌山県の北西部に位置し、紀伊水道に面する有田の大地。まちの中心を悠々と流れる有田川は、すべての命に恵みを与えてきました。
風が運ぶ、薫る風景を感じてください。

風薫るありだ

【目次】

プロローグ	1
刊行にあたって	3
第1章 育む薫り風	4
蜜柑の歴史	5
味と歴史は日本一有田クオリティ	7
黒潮薫る日本の生業	9
グルメ・特産品美しありだ	11
神々の聖地をつなぐ熊野古道	13
先人たちの栄華を偲ぶ	15
受け継ぐ想い	17
うつりゆく季節	19
有田に吹く50余年の風	21
名誉市民	25
第2章 新風の薫り	26
みんなで作るふるさと有田	27
有田市市民憲章	32
風薫るありだマップ	33

刊行にあたって

Comments during Publication



有田市長 望月良男
Yoshio Mochizuki, mayor of Arida City

有田市は、昭和31年5月に県内で7番目の市として誕生し、海・山・川といった自然に恵まれ、有田みかんや太刀魚など多くの特産品や魅力的な地域資源を有しております。

また、日本最古といわれる「糸我稲荷神社」に代表される歴史や伝統文化、さらには人情味豊かな風土といったまちの誇りを先人から受け継いで参りました。

こうしたまちの特徴を活かしながら「Active Arida」～活力あふれる明るい未来のため～」をスローガンに掲げ、市民の皆様がわが故郷を誇りに思える安全で安心して暮らせるまちづくりを市民協働で進めて参りたいと考えております。

この市勢要覧によって「誇れるまち有田市」をご理解いただき、未来にキラリと輝きを放つ市政発展にご協力をいただければ幸いです。

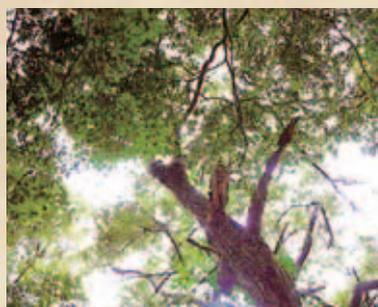
The city of Arida was established in 1956 as the 7th municipality in the prefecture. Arida is blessed with nature from the mountains to rivers that run to the sea. The Arida Mandarin's and the famous cutlass fish are just a few of the wonderful regional resources and products found in Arida. Along with the Itoga Inari Shrine, said to be the oldest shrine in Japan, Arida is filled with a culture and history of humanity and caring for others that has been passed down from our ancestors.

Our motto, "Active Arida. Working towards a bright and vital future for Arida" shows our dedication to making Arida a place that our citizens can be proud of, and a place that they can live and raise their families in safety.

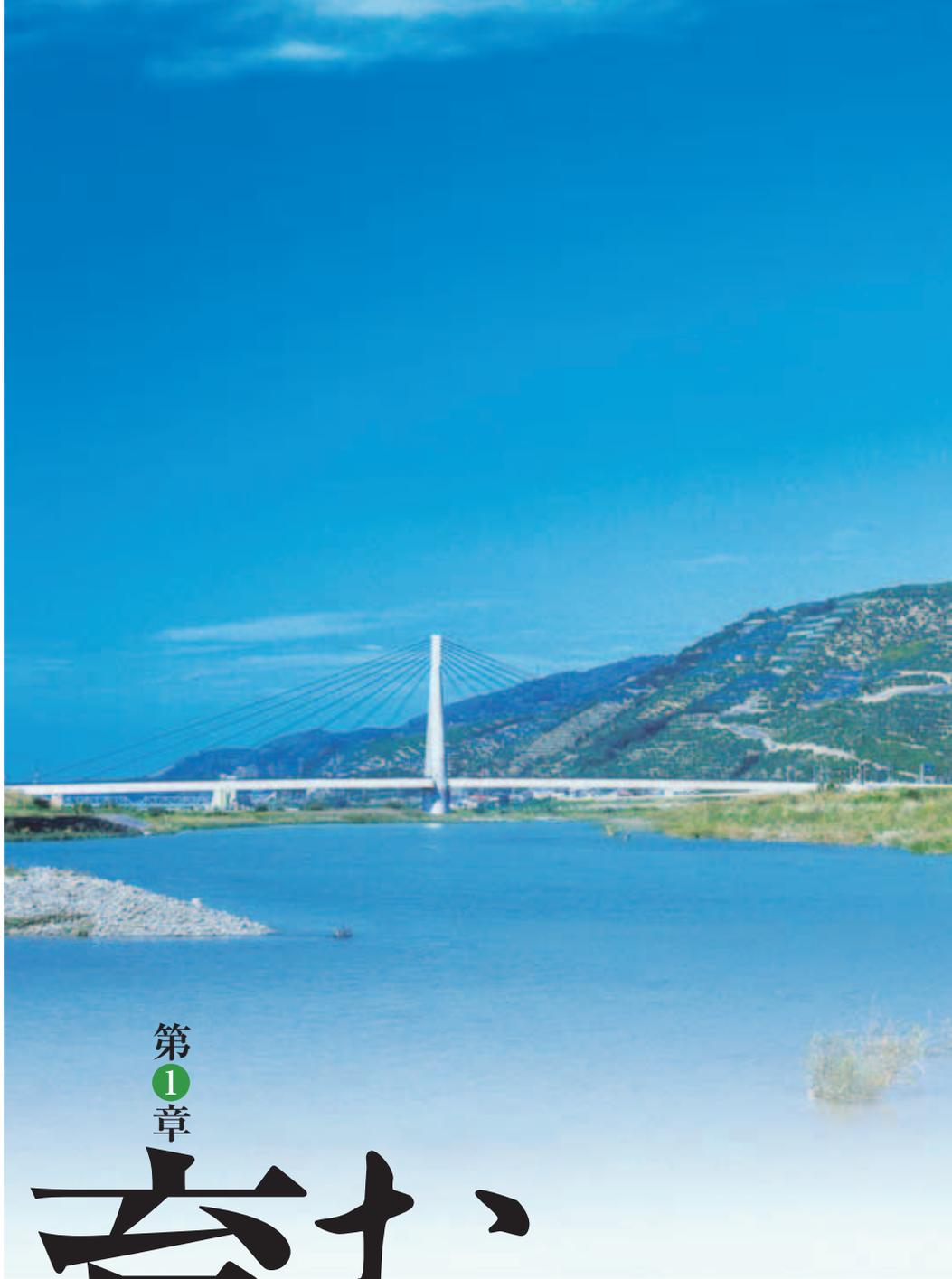
With everyone's help and understanding we will be able to make our city "Arida, the city you can be proud of."



市の花
みかん



市の木
椎



第
①
章

育む 薫り風

A Heart Warming Breeze

有田市が生まれて50余年、
太陽と海と大地の恵みをいっぱいを受け、
はぐまれながら、吹き続けてきた風の薫りは、
有田が大切に温めてきた宝物。

400年以上もの歴史と伝統を誇る、みかん栽培。先人たちは風をよみ、風にのって船で運んだ。そのたゆまざる努力と偉大な知恵が、有田の礎を築いていった。

みかん栽培の起源

紀 州みかんの産地として有名な有田と古くから評判の高い大地です。そもそも、有田でみかん栽培が営まれるようになったのは、今からおおよそ400年以上も昔のこと。その起源については諸説があり、明らかにはされていませんが、本格的に始まったのは、江戸時代初期のようです。

諸説の一つに登場するのが、みかんの始祖伊藤孫右衛門という人物です。米や麦作が中心だった天正時代（1573-91）、この地域は山が多く平地が少なかったために、人々は貧しい暮らしを送っていました。糸我庄中番村（現在の有田市糸我町中番）で代々庄屋を務めていた孫右衛門は、山々の草木が青々と茂る様を見て、園芸作物を思いつき、当時みかん栽培が盛んだった肥後（現在の熊本県）八代から小みかんの苗木2株を持ち帰りました。これをきっかけに、有田の恵まれた気候、勤勉な農民の働きによって現在のみかんづくりの基礎が築かれていったのです。



● 有田みかん

独特の段々畑が太陽の光と黒潮の恵みを受けるため、糖度が高く甘い実がなるのが特徴です。

みかん 蜜柑の 歴史

History of Mandarins Oranges in Arida

● みかん出荷（江戸時代）

みかん出荷が盛んだった江戸時代、籠に入れ1カ月かけて運んでいたため、江戸に着くころには腐敗するものもあったようです。

江戸に運ばれた有田みかん

みかん栽培がますます盛んになった江戸時代初め、滝川原村（現在の有田市宮原町滝川原）の藤兵衛は、寛永11年（1634）にみかん400籠を船に積んで江戸に運びました。すると、たちまち有田みかんのおいしさは話題になり、江戸中の人気を博したのです。

その後、有田一円のみかんは、有田川の北湊天甫堤に集められ、紀勢線が箕島に開通するまでの約300年間、江戸を中心とした消費地へ船で運ばれました。そのころの北湊は、大変なにぎわいを見せていたそうです。



北湊みかん積み出しの様子

Arida City is very famous for its production of Kishu Mandarin Oranges, one of the most well-known brands of Japanese mandarins. Originally, mandarin plantations began in Arida more than 400 years ago. The origin of the plantations is not clear, as there are various theories; however, full-scale production is said to have started in the early years of the Edo Period. In 1634, Toubee, a man who lived in Takigahara village (today's Takigahara, Miyahara town, Arida City), loaded a ship with 400 baskets of Kishu Mandarins for transport to Edo (modern-day Tokyo). Kishu Mandarins soon became very popular with people in Edo, and for the next three centuries, Arida's mandarins were collected in Kitaminato at the mouth of the Arida River and transported by ship to consumers in Edo and other regions.



●みかん船

みかん資料館に展示しているみかん船の模型。現代と違って、風力を利用した船でみかんを運びました。このほかにも先人たちが残した貴重なみかん産業の資料が展示されています。

時の風をよんだ豪商

紀伊国屋文左衛門

貞享2年（1685）、みかんの収穫期を迎えた有田川流域は、例年になく暴風雨に見舞われました。旧暦の11月8日に祝う「ふいご祭り」の日が近づき、お供え物にするみかんを江戸の鍛冶師たちのもとへ届けなければなりません。そのような中、17歳だった紀伊国屋文左衛門が千載一遇のチャンスととらえ、荒れ狂う海へと乗り出して行っただけです。

無事にみかんを届けた文左衛門は大もうけし、その後、材木商を始め江戸で1、2の豪商となりました。



度胸と先見性と時代の風をよんだ文左衛門のサクセスストーリーは、紀文伝として今に伝えられています。



有田みかん

急 傾斜で山頂まで開墾された石垣積みの段々畑。

先人から受け継がれてきた貴重な財産です。

約400年以上の伝統に培われた有田みかんは、農家の皆さんの丹精こめた栽培・管理がなされ、また、中山間地域の傾斜地を生かした排水の良さなど、適作地の利を生かし、高品質なみかん生産が行われています。

近年では、栽培技術の向上や、新たな品種の導入により、より高品質な有田みかんを全国の消費者の方々に提供していくよう、農家の皆さんは、日々努力・研究をされ、みかんづくりに誇りを持って取り組まれています。

味と歴史は日本一

Arida Quality: The best food and history in Japan

有田クオリティ

海からの潮風と太陽の光をいっぱい浴びて、
オレンジ色のみかんがたわわに実る。
みかん栽培にかける、有田人の探求は今も続いている。



官能審査

原産地呼称管理制度

有 田市では、消費者に高品質な農産物及び農産物加工品の生産情報を開示、提供していくことで、消費者の信用を得ながら地域の振興を図ることを目的として、有田みかんの再ブランド化、また将来的な海外輸出を見据え、原産地呼称管理制度に取り組んでいます。
長野県などこの制度に取り組んでいる都道府県はありますが、市町村単独でかつ生果での取り組みは本市

が初めてです。

まずみかん委員会で農家の皆さんから申請のあった園地の管理状態の審査を行い、その後、そこで栽培されたみかんを味覚のプロが審査し、その中で高品質と認められたものに認定マークを付与し、全国の市場やインターネット等で販売されます。

平成23年度には、温州みかんジュースを新たに品目に加え、全国はもとより世界に向けてこの制度の充実を図ります。



The city of Arida records the origin of all local agricultural and processed products to build a higher level of trust with consumers. This system was begun with the re-branding of the Arida Mandarin and our plans to begin shipping to overseas destinations. There are several prefectures that have similar systems of recording the origin of agricultural products, but Arida is the first city in Japan with one. Farmers who have applied for and been recognized by the city have their mandarins rated by an expert and receive a seal of certification of quality before being sent to markets throughout the country and sold online. In 2011 Onshu Mandarin juice was added to the list of products we offer, and along with our system of recording the origin of our products we began selling to all of Japan as the first step toward moving into the world market.



黒潮かおる

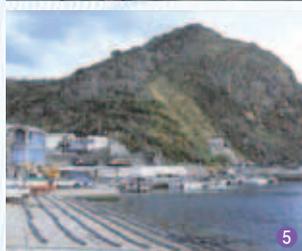
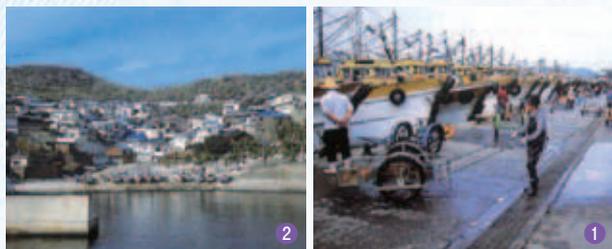
日本一の 生業

Fishery: Largest in Japan fostered
by the Black Current

目の前の大海へ、
黒潮が幸を運ぶ。
昔から、海とともに生きてきた
人々の生業は、いつしか日本一の地位を
しっかりと固めていた。

有田の漁業

大 阪湾からの内海系水と南から有田市の漁場。そのため、水産資源が豊富で漁船漁業を中心とした沿岸漁業が盛んに営まれています。市内には5つの漁港があり、魚は主にチウオ、シラス、アジ、サバ、マダイなどがとれます。中でもチウオの漁獲量は日本一であり、全国のチウオ水揚量の81%を占めています。また、シラス加工や地元で水揚げされた新鮮な魚を原料に「かまぼこ」「ほねく」「ほね天」「えびせんべい」などの水産加工業も盛んです。



- ① 箕島漁港
- ② 矢櫃漁港
- ③ 初島漁港
- ④ 千田漁港
- ⑤ 逢井漁港



うたせ船 (小型底引き網漁船)

底びき網漁業の変遷

タ チウオ漁獲量日本一のまちとして有名な有田市。有田のチウオ漁が日本一である理由は、

技術はもちろん専用の網を使用した小型底引き網漁船を有しているからです。もともと天保年間(1830-43)に阿波国(現在の徳島県)を見習った漕打瀬漁業でしたが、時代とともに造船技術が発達し、現在の船へと進化してきました。

As Arida City has abundant aquatic resources fostered by seawater from the inland sea of Osaka Bay, as well as a tributary stream of the Black Current from the south, the inshore fishery is flourishing in Arida. Arida is famous for the largest catch of hairtail [cutlass fish, *Trichiurus lepturus*] in Japan, due to the use of small trawlers equipped with special dragnets, as well as special fishing techniques. Originally, fishermen were engaged in the Kogitase fishing (dragnet fishing by man-powered boats) learned from fishermen in Awakoku (today's Tokushima Pref.) during the Tenpo period(1830-43). However, as shipbuilding skills developed with the times, those boats were replaced with the ships currently in use.



漁を終え船が帰港すると、漁獲した魚を運ぶために漁港にはたくさんのリヤカーが並びます。



うま
ま

美
し
あ
り
だ

グルメ・特産品

Gourmet Specialties: Exquisite Arida



◀太刀魚フルコース



▲クエフルコース



▲ハモ料理



▲なれずし



▲鯖棒寿司



▲太刀魚寿司



▲有田市の新ブランド 太刀重



▲たっちょほねく丼(有田市B級グルメ)



▲鮎寿司



▲アユめだき



▲きざみうなぎの蒲焼



▲みかんジュース



▲みかん
ぼん酢・はちみつ・酢・ワイン



▲みかん
バームクーヘン・大福・もなか



▲みかん
ゼリー・マーマレード・ジュレ・ジャム



▲有田川若鮎(生菓子)



▲えびせんべい



▲かまぼこ・天ぷら



▲備長炭製品



▲金山寺味噌



▲しらす



▲うどん・ラーメン



▲手造り醤油・橙ぼん酢

Kumano-kodo: Connecting the gods' holy places

神々の聖地をつなぐ

熊野古道

糸我峠

いとがとうげ
有田市から湯浅町方面へと向かう、急峻な坂を登り詰めた峠が糸我峠です。糸我峠の名は万葉集や平家物語などに記されており、また「紀伊国名所図会」によると、この峠には2軒の茶屋があつて、名産のみかんを売っていたようです。今も峠には茶屋跡の石碑が残っています。

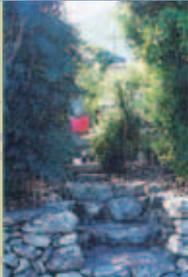


③太刀の宮

宮崎定直が大坂夏の陣から帰る途中、名剣の霊験により難を免れたため剣を奉納したことに由来しています。

④伏原の墓

熊野参詣の途中で病などにより行き倒れた人の霊を回向し、慰めるために遺族が墓石を集め置いた場所です。



⑥稲荷神社

社前鳥居には「本朝最初稲荷神社」の額が上がっており、境内には樹齢400~500年のクスが3本あります。



⑤得生寺

中将姫ゆかりの寺として有名で、本堂、開山堂、庫裡、鐘堂、宝物庫などがあります。

Kumano-kodo is the old thoroughfare traveled by those visiting Kumano-sanzan (the three shrines of Kumano: Hongu, Hayatama, and Nachi) during the middle of the Heian period. Originally, only aristocrats visited the area but soon samurai and commoners began to take part. During the Muromachi period, the many people turning out for Kumano-sanzan from all over the country were referred to as the "visit of ants to Kumano." Along the Kumano-kodo in Arida City, visitors can still see many reminders of this heritage.

熊野古道



山口王子社跡



くまの古道
ふれあい広場

宮原渡場跡

糸我の一里塚

くまの古道
歴史民俗資料館

糸我峠茶屋跡



①蕪坂塔下王子

建仁元年(1201)の「熊野御幸略紀」に記されている王子社です。

②爪書地蔵

弘法大師が熊野参詣の折、爪で岩に彫りつけたと伝わる地蔵像が小堂の中に安置されています。



⑦糸我王子

かつては「イトカハ王子」や「上王子」とも呼ばれていました。現在は王子社跡の石碑が建てられています。

熊野古道とは、平安時代中期に熊野三山(本宮・速玉・那智)へ参詣する人々が通った道です。もとは貴族が参詣していましたが、やがて武士や庶民へ広がり、室町時代になると「蟻の熊野詣」と呼ばれるほど全国各地から多くの人が足を運ぶようになりました。市内の古道沿いには、往時をしのぶ遺産を見ることが出来ます。

くまの古道 歴史民俗資料館

日本で12番目のユネスコ世界遺産として平成16年に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」。有田市の「くまの古道歴史民俗資料館」では、熊野古道に関する貴重な資料の展示を行っています。

この資料館は、熊野古道ゆかりの地域としての資料を展示するほか、市内を通る熊野古道を訪れる人々の休憩場所としても利用されています。



息づく大地の記憶

有田の歴史をひもとくと、古くは縄文時代に地ノ島で人が生活をしてきたことがわかっています。

数千年以上前から今日まで、時をつづってきた有田。歴史というまちの記憶は、熊野古道や市内に散在する文化財を見れば、当時の様子をそのままに思い描くことができます。また、有田には国や県の文化財に指定されているものが多く、遺産の趣は、遠く古いにしへに生きた先人たちの栄華がしのばれるものばかり。そのすべてが、しっかりと今に息づいています。

文化財

先人たちの
The Memory of the Glory of Our Ancestors

栄華を 偲ぶ



浄妙寺多宝塔 / 国指定重要文化財



浄妙寺薬師三尊 / 国指定重要文化財



須佐神社

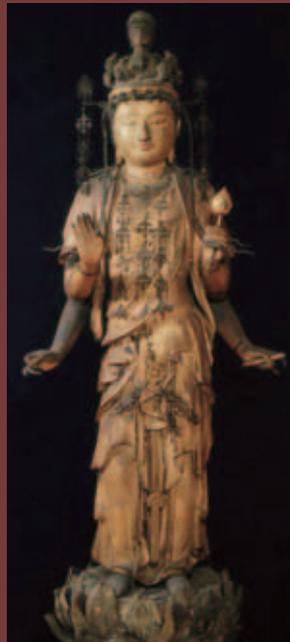


須佐神社の太刀／国指定重要文化財



正善寺大日如来坐像／国指定重要文化財

歴史上名高い多くの先人たちが、
彼らの鼓動が聞こえる。
激動の時代を駆け抜け、華やかな歴史を築いてきた有田。
今に残る遺産から古の繁栄をしのぶ。



広利寺十一面観音立像／
国指定重要文化財



明恵上人星尾遺跡／国指定史跡

Perusing a book of the history of Arita, the reader will find that our history stretches back thousands of years to when people first lived on the island of Jinoshima during the Jomon period. Cultural artifacts discovered here and there along Kumano-kodo and in Arita City remind us of how the area was in former times. There are many cultural assets certified by the national or Wakayama Prefectural governments in Arita, every feature of which reflects the glory of our ancestors from the oldest times to the present day.





受け継ぐ 想

伝統行事

Inherited Spirit

有田の地に込めた夢や希望、願い…
それら、人々の熱き想いから
伝統の行事が生まれた。
人から人へと受け継がれる想いは、
何一つ変わることはない。

【得生寺二十五菩薩来迎会式】

中将姫の命日にちなんで、毎年5月14日に行われています。
県の無形民俗文化財に指定されています。

脈々と伝わる文化

天平19年(747)に藤原豊成の娘として生まれた中将姫は、継母に憎まれ糸我の雲雀山に捨てられました。17歳になった中将姫は偶然、豊成と出会い、大和の當麻寺で出家し、29歳で二十五菩薩を迎える中、大往生を遂げたという説話が得生寺に伝えられています。二十五菩薩来迎会式はその説話に基づくもの。そのほかにも有田のまちには脈々と受け継がれている伝統行事があります。



●有田川の鵜飼（県指定無形民俗文化財）

600年の歴史を有し、全国でも唯一の漁法「徒歩（かち）漁法」である有田川の鵜飼。アユ漁が解禁となる6月から8月の期間中見ることができます。

Chujohime, an aristocratic maiden born in 747 and the daughter of Junior Minister Toyonari Fujiwara, was hated by her stepmother, and marooned on Hibari Mountain in Itoga. When she was 17 years old, she happened to meet Toyonari, and after that, she became a priest of the Taimadera temple. When she was 29 years old, she died peacefully, and was welcomed by Nijugobosatsu (the twenty-five bodhisattvas). This story has been handed down in stories of the Tokushoji temple. Based on the story, Nijugobosatsu-raigo (a memorial service about the twenty-five bodhisattvas' coming to welcome her) is held. This is one of many traditional events still observed in Arida.



●千田祭り（市指定無形民俗文化財）

毎年、10月14日に行われる須佐神社の秋祭りです。

うつりゆく

季節

【紀文まつり】

8月に行われる夏祭り。
夏の夜空を彩る大輪の水中花火が打ち上げられ、
毎年、市内外から多くの人々が詰めかけます。

観光
スポット

人情味豊かな風土と海・山・川の
自然資源に恵まれた有田市には、
生活をリフレッシュさせる観光スポットが
数多く存在します。





【ウエノ公園】

園内には桜やツツジの木が多く、春の桜シーズンには大勢の花見客で賑わいます。(咲き始め3月下旬、見頃4月初旬)



【みかんの花街道ウォーク】

みかんの花が咲き誇る5月、甘酸っぱい香りを楽しみながらみかん畑沿いの道を歩くイベントです。



【仁平寺のあじさい】

別名「あじさい寺」とも言われ、境内に約1,000株のあじさいが咲き誇ります。(咲き始め5月下旬、見頃6月中旬)



【箕川の大賀蓮】

川幅約5m、延長約100mの箕川の一面に咲き誇ります。週末にはアマチュアカメラマン等で賑わいます。(咲き始め6月下旬、見頃7月中旬)



【地の島海水浴場】

無人島にある海水浴場。渡船で渡ると、透明度が高く、水質の良い海で海水浴が楽しめ、キャンプもできます。



【夕日】

夕日の絶景ポイントが多くあり、和歌山県観光連盟から「和歌山県の朝日・夕日100選」にも複数選ばれています。



【みかん狩り】

10月中旬から12月初旬ごろまで楽しめ、「味と歴史は日本一」の新鮮な有田みかんを山で食べるのは格別。



【青のり採取】

江戸時代からの伝統があり、有田市の冬の風物詩として知られています。



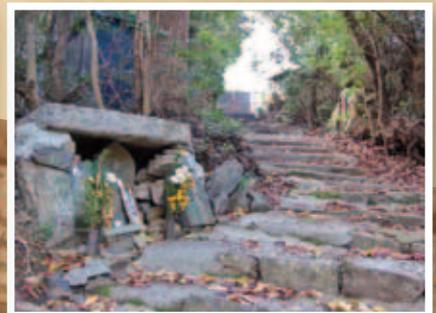
【有田みかん海道マラソン】

アップダウンの激しいコースが名物のマラソン大会で、山頂からは絶景が広がっており、毎年市内外から多くのランナーが集まります。



【磯釣り・船釣り】

有田市の沿岸一帯は、景勝に富んだリアス式海岸で磯釣り、船釣りの好ポイントが多く、四季を通じ釣り客で賑わっています。



【愛宕山八十八カ所霊場】

弘法大師・愛宕の火伏神・役行者を大師堂にお祀りしている全国的にも珍しい「神仏習合」の文化遺産があります。



昭和31〜63年

昭和31年
5月 市制施行 市福祉事務所設置
地方財政再建整備法適用を申請

昭和32年
8月 市立「長寿荘」開所
市立箕島病院を市立病院と改称

昭和33年
9月 国道42号、1級国道昇格

昭和34年
11月 みかん列車「紀文号」・「紀州号」運転開始
12月 世界連邦都市宣言

昭和35年
5月 上水道工事完成、給水開始
10月 商工会発足

昭和36年
9月 第2室戸台風襲来、被害甚大により災害救助法発令

昭和37年
3月 有田市・初島町合併調印
市内の電話自動化
8月 有田市・初島町合併、初島支所を設置

昭和38年
8月 安諦橋竣工

昭和39年
3月 暴力追放都市宣言

有田に吹く

50余年という月日がつないできたもの…
豊かな自然、活力ある生業、心地よい暮らし、人々の笑顔。
この有田に吹き続けてきたいろんな風の薫りを、
ゆっくりと思い出しながら、一つひとつ振り返る。

有田市
半世紀の
あゆみ

DATA

昭和31年

人口：30,620人
世帯数：6,143世帯

●昭和31年 有田市誕生

昭和29年に箕島町、保田村、糸我村、宮原村が合併し有田町となり、同31年に市制が施行され、有田市誕生を祝ってパレードが行われました。



昭和40年

2月 有田市消防本部設置
4月 初島・箕島・保田3農協が合併し、有田市農協を設立
8月 米国カリフォルニア州デレノ市と姉妹都市調印

昭和41年

3月 県議会、有田市・吉備町合併案否決
9月 有田市消防署、救急業務開始

昭和43年

3月 紀勢本線、初島・箕島間複線化

昭和45年

2月 市民会館竣工
4月 箕島高校、選抜高校野球大会全国優勝

昭和46年

10月 有田市で、黒潮国体秋季大会ボクシング・ホッケー種目開催 常陸宮・同妃殿下ご来市
11月 箕島高校、黒潮国体ホッケー優勝 皇太子・同妃殿下ご来市

昭和51年

4月 有田周辺広域圏事務組合設立

昭和52年

1月 有田市長期総合計画策定
4月 港小学校開校
6月 箕島高校選抜高校野球大会全国優勝(2回目)
7月 集団コレラ禍
衛生都市宣言

昭和53年

3月 有田市地域防災計画策定

昭和54年

4月 箕島高校選抜高校野球大会全国優勝(3回目)
8月 箕島高校全国高校野球選手権大会優勝、史上3校目の春夏連続優勝

昭和55年

4月 有田市同和教育基本方針策定
6月 港町に消防化学基地開所

昭和56年

4月 広域行政によるごみ処理施設「環境センター」竣工
12月 清掃センター竣工

昭和58年

5月 有田バイパス供用開始

昭和59年

1月 市立病院新館完成

昭和60年

1月 市民テニスコート完成

昭和61年

4月 市民憲章・市歌・市の花・市の木を制定
行政改革大綱発表
9月 養護老人ホーム「長寿荘」移転新築

昭和62年

4月 新庁舎完成



昭和34年 みかん列車「紀文号」・「紀州号」運転開始



昭和37年 有田市・初島町合併祝賀式



昭和54年 箕島高校野球部春夏連続優勝



昭和58年 有田バイパス供用開始

平成元々24年

平成元年
10月 文化福祉センター開設

平成2年
3月 箕島保育所完成

平成3年
7月 観光物産センター開設

平成5年
4月 県道有田高野線、国道480号に昇格
8月 市立病院増改築完工、整形外科・循環器内科新設、泌尿器科再開

9月 鉄材加工大型共同作業場完成
10月 千田排水トンネル、約150年ぶりの大改造工事完成
11月 保田橋北詰山腹に「日本一有田みかん」のジャンボ壁画完成

平成6年
4月 市道初島砂浜奥線開通

平成7年
4月 有料指定ごみ袋によるごみ収集開始
7月 ひとり暮らしの老人宅に緊急通報システム設置
11月 男浦地先埋立工事・市民スポーツ広場完成

平成8年
3月 第2次有田市行政改革大綱策定
4月 市民球場完成

平成9年
4月 有田東大橋竣工
ふるさとの川総合公園完成

平成10年
1月 市立病院、夜間・休日の内科診療開始
3月 有田中央大橋竣工
4月 たちうおシンボルタワー完成
7月 第2次有田市行政改革大綱改定

平成11年
3月 くまの古道歴史民俗資料館開設
くまの古道ふれあい広場完成

平成12年
1月 有田市美しいまちづくり条例施行
5月 ゴミフェスタIN有田市開催
9月 熊野古道定家フェスタin有田「中世有田の古寺と熊野信仰」展開催

平成13年
1月 有田市情報公開制度条例制定
4月 第3次有田市長期総合計画策定
6月 I-T普及国民運動に係る講習会実施
10月 定家800年まつり実施
11月 福祉館「なごみ」開設
小中学校に学校評議員制度導入

平成14年
4月 完全学校週5日制実施
5月 プロ野球ウエスタンカーニバルin有田開催
8月 有田市学校給食センター完成

平成15年
3月 宮原跨線橋竣工
7月 有田市・湯浅町・広川町合併協議会設置
12月 有田市財政健全化計画策定

平成16年
3月 有田市・湯浅町・広川町合併協議会打ち切り決定
4月 小中学校2学期制開始
11月 行財政改革推進市民会議発足

有田市 半世紀の あゆみ

DATA

平成24年

人口：31,376人

世帯数：11,801世帯



平成13年 福祉館「なごみ」開設



平成14年 プロ野球ウエスタンカーニバルin有田開催



平成9年 ふるさとの川総合公園完成

平成17年
3月 初島中学校新校舎完成

平成18年
5月 市政施行50周年

平成20年
3月 欽ちゃん球団IN有田開催
4月 学校給食調理業務民間委託開始
有田みかん海道開通
7月 山地風力発電所竣工
11月 ドリームベースボール開催

平成22年
4月 有田市原産地呼称管理制度創設
11月 「ノエル・アリダスイーツコンテスト」開催

平成23年
2月 公式アプリ「AR-ARIDA」アイ
フォン版リリース
3月 文成中学校新校舎完成
9月 金沢市体育協会とスポーツ交流協定締
結
12月 公式アプリ「AR-ARIDA」ア
ンド
ロイド版リリース

平成24年
3月 そとはま保育所完成
5月 箕島駅前広場供用開始
7月 有田市高齢運転者標識の表示推進に
関する条例施行
10月 箕島中学校武道場完成



平成20年 有田みかん海道開通



平成23年 文成中学校新校舎完成



平成22年 ノエル・アリダ・スイーツコンテスト開催



平成24年 そとはま保育所完成



平成23年 スマートフォン用公式アプリ「AR-ARIDA」リリース

名誉市民

社会の進歩、文化の興隆に功績のあった市民又は市に縁故の深い者で、郷土の誇りとなるものに対して、有田市名誉市民の称号を贈り、その栄誉を称えています。

中谷 良太郎

Nakatani Ryotaro

明治 34 年 (1901 年) ~
昭和 63 年 (1988 年)
第 4・5 代市長



森川 仙太

Morikawa Senta

明治 28 年 (1895 年) ~
昭和 56 年 (1981 年)
第 1 ~ 3 代市長



尾 藤 公

Bito Tadashi

昭和 17 年 (1942 年) ~
平成 23 年 (2011 年)
元和歌山県立箕島高等学校
硬式野球部監督
春の選抜高校野球大会優勝
3 回・夏の全国高校野球選
手権大会優勝 1 回
※昭和 54 年には春・夏連
続優勝



中本 重夫

Nakamoto Shigeo

大正 8 年 (1919 年) ~
平成 11 年 (1999 年)
第 6 ~ 11 代市長





第2章

新風の薫り

Scents of Something New

次の時代へ歩みを進めようと、
新たな風がそよそよ吹き始めた。
これまでに培ってきた有田に薫る歴史や文化、伝統…
その薫りをまとい今、新風が起こる。



保育所避難訓練

安全・安心を一番に

Safety and Security First

一人ひとりが、
安心と思える未来のまちを考える。
より安全で、より安心な強いまちを確立するため、
有田市が今取り組んでいること。



防災訓練

For a city to be a nice place to live, a spirit of mutual support must be fostered within the community. As a city facing the sea, Arida is especially committed to disaster-prevention measures that make use of past experience, including an information dissemination system for disasters, enhancement of fire services and disaster prevention plans, and promotion of disaster prevention awareness. In addition, Arida will push forward with the establishment of a comprehensive mechanism to promote the welfare of the community, senior citizens, individuals with disabilities, in addition to support for raising children, so that everyone can live a full life, in spite of the rapid aging of the population resulting from the decline in the birthrate.

住 みよいまちには、地域の助けあ
う心はぐくまれています。
海に面する有田市は、過去の経験を
生かしつつ災害時の情報伝達体制や消
防、防災体制の強化、市民の防災意識
の高揚に努めるなど、防災対策に力を
入れて取り組んでいます。また、少子
高齢化が進む中、だれもがいきいきと
した生活を送ることができるよう、高
齢者福祉、障害者福祉、子育て支援な
ど地域福祉を総合的に推進する仕組
みづくりを進めています。

安全と
福祉

みんなでつくる
ふるさと有田



地域子育て支援センター わくわく広場



ふるさとの川総合公園

水と緑あふれる暮らし

A Life Rich with Water and Greenery

豊かに暮らすこと、
それはまちに住むみんなの願い。
快適と感じるまちづくりは環境を考える心づくり、
そのために有田市が考えること。



デマントバス



箕島駅前広場

It is important to establish a better living environment for enjoying a comfortable, bountiful life. Arida City is moving forward by developing a mass-transit network and highway system in the city, establishing barrier-free city-provided housing, and managing park facilities like the Furusatonokawa Comprehensive Park. For environmental protection, Arida is committed to developing the water supply and sewerage systems and establishing a recycling-oriented society.

人々の暮らしを快適で豊かなものにするためには、よりよい生活環境づくりが大切です。
有田市では、公共交通網や市内幹線道路などの整備を進め、また、ふるさとの川総合公園などをはじめとする公園施設の管理を行うほか、環境保全の観点から、上下水道の整備や資源リサイクルを推進した循環型社会の構築に取り組んでいます。

基盤整備

みんなでつくる
ふるさと有田



みかんの里で踊りまShow!

人をはぐくむ文化

A People-Fostering Culture



金沢市との少年野球交流試合

子どもから大人まで、
みんながいきいきと輝ける。
このまちで、人生を思いっきり謳歌できるよう、
日々有田市が生み出しているもの。



有田市文化祭

People and history shape the culture of a town, and the culture that has developed over the years fosters the people. Because people have grown eager to participate in lifelong learning, Arida City is adopting a work-study program in order to foster well-rounded children. In addition, in order to assist residents in discovering new interests and hobbies, community interaction is promoted by providing opportunities for lifelong volunteer activities, study and learning, cultural activities, and a variety of sports and recreational opportunities.

人と歴史がまちの文化をつくり、
長年培われてきた文化は人をはぐくみます。
生涯学習意欲が高まる昨今、有田市では、子どもたちの豊かな人間性をはぐくむため、体験的な学習を取り入れています。また、生涯にわたるボランティア活動や文化活動などの学習機会、スポーツやレクリエーションなどの生きがいづくりの場所を提供することで、市民同士、また、県を越えた他市との交流も深めています。

教育文化
みんなでつくる
ふるさと有田



みかんの選果作業

いきいき元気な 産業

Vigorous Industries



蚊取り線香工場 (有田市は蚊取り線香発祥の地)

自然を生かしつつ、
発展を遂げてきたまちの活力。
さらなる進化を求め、突き進んでいく彼方に、
有田市の未来が見えてくる。

都 市の活力は、そこで展開される人々の生活や農業、工業などの産業に現れます。

みかんの里として有名な有田市。高品質みかんの生産拡大を図り、原産地呼称管理制度の導入やトップセールスを行うとともに、収穫体験をはじめとする体験型観光などのPRに取り組みんでいます。そのほか、工業地域の充実、インターネットなどを活用した情報産業の育成を図り、活力に満ちた産業振興を進めています。



石油精製工場

The vitality of a city is reflected in the life of the residents or in the agriculture and the industries of the city. Arida City, which is famous as a mandarin-growing district, is committed to increasing the production of high-quality Aji-ichi mikan and developing public relations activities for experience-based tours to participate in the harvest of mandarins. In addition, Arida is aggressively pushing forward with the promotion of industries by developing industrial areas and fostering information enterprises using the Internet.

産業

みんなで作る
ふるさと有田



新消防庁舎完成イメージ



市庁舎

未来へ 新しい風を

An Innovative Wind toward the Future

The current tough economic conditions and rapidly changing society require that the government and the citizens work together to improve the economic conditions.

Arida's motto is, "Active Arida. Working towards a bright and vital future for Arida". By building a new fire station which will serve as the disaster prevention center, we are strengthening our disaster prevention measures, and in a coordinated effort with the citizens of Arida, business partners and various supporters are promoting urban development to make Arida great and usher in an air of reform to our government and city.

づくりに取り組んでいます。まちづくりを取り組んでいます。市民には「安心」の風を吹き込むべく、市民主体のまちづくりに取り組んでいます。

そのための有田市では、「アクティブ・アリダ」活力あふれる明るい未来を目指して「」を合言葉に、市民協働のもと、行政パートナー・まちづくりサポーター制度を導入し、市民目線に立ったまちづくりを進めるとともに、新しい防災拠点となる消防庁舎を建設し、防災対策の強化に努めるなど、行政には「改革」の、また市民には「安心」の風を吹き込むべく、市民主体のまちづくりに取り組んでいます。

社

会状況がめまぐるしく変化し、経済情勢も厳しい現代社会の中で、まちづくりは、市民と行政が一体となり、市民の総意によって進められていくものです。



有田市議会議員平成24年10月現在



議会風景

議会 行政

みんなで作る
ふるさと有田

紀伊水道に面し、有田川の河口に広がるまち、有田は、
偉大な先人たちの英知を受け継ぎながら、
日々の暮らしに取り入れてきた。

どちらも欠くことのできない人間と大地の力、
その生命の輝きが、
まちにオレンジ色の実りを授けてくれた。

甘酸っぱくて、どこか懐かしい…
そんな気持ちにさせる風の薫りをこれからも守ってゆきたい。



有田市市民憲章

私たちは、美しい恵み豊かな自然にはぐくまれ、歴史と伝統に輝くふるさと有田市をかぎりなく愛し、真実を求め平和を願い、未来に向けて生々発展する希望のまちづくりを期し、ここにこの憲章を定めます。

① 自然を愛し、人を大切にす
る心豊かな市民になりま
しょう。

② 心身をきたえ、健やかで生
きがいのある生活をきずき
ましょう。

③ 家庭や地域の環境をととの
え、未来にはばたくたくま
しい青少年を育てましょう。

④ とともに学び、文化を高め、
うるおいのあるまちづくり
をめざしましょう。

⑤ 伝統と創造を重んじ、英知
を集め、活力あるまちづく
りにつとめましょう。

風薫るありだマップ

海・山・川の自然の中で、四季折々の風情をかもし出すふるさと有田の景色。
風薫る有田では、長い時間をかけてはぐくまれてきた、
甘酸っぱいみかん、心地よい潮風、いろんな薫りが楽しめる。



至 和歌山

しもつ

蕪坂塔下王子社跡

太刀の宮

爪書地藏

熊野古道

ふるさとの川総合公園

有田川町

● 山口王子社跡

● 伏原の墓

蚊取り線香発祥の地

くまの古道
ふれあい広場

● 岩室城跡

至高野

きいみやばら

宮原渡場跡

有田川の鵜飼

宮原橋

● 明恵上人星尾遺跡

得生寺

糸我の一里塚

有田東大橋

紀州みかん
最初の地

● 仁平寺

● 糸我稻荷神社

須佐神社

くまの古道
歴史民俗資料館

● 糸我王子社跡

● 糸我峠茶屋跡

有田 I.C

湯浅町

至御坊

紀勢本線



地ノ島海水浴場

地ノ島

沖ノ島

初島漁港

紀勢本線
#しじは

有田市民水泳場

愛宕山
八十八所霊場

有田市民体育館

北湊みかん積出地跡

有田川

有田大橋

有田市文化
福祉センター

安諦橋

有田市役所
有田市消防庁舎

箕島漁港

たちおシンボルタワー
(タッチ)

有田市立病院

有田警察署

ウエノ公園

宮崎の鼻

有田市民球場

浄妙寺多宝塔

逢井漁港

有田みかん海道

西有田県立自然公園

矢櫃漁港

千田漁港

風薫る
ありだ

有田市市勢要覧

発行：有田市役所
〒649-0392 和歌山県有田市箕島50番地
TEL：0737-83-1111 FAX：0737-82-1725
発行月日：2012年11月
制作：(株)協和

